

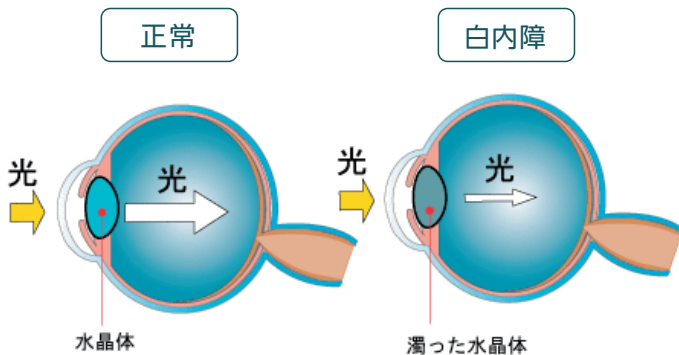


白内障

白内障について

白内障とは、目の中のレンズの役割をする水晶体が濁ってしまう病気です。水晶体が濁ってしまうと、カメラのレンズが曇ってしまったように、ものが上手く見えなくなってきます。

原因としては加齢によるものが最も多く、他にアトピー性皮膚炎や糖尿病、薬の副作用が原因となる場合もあります。早ければ40歳頃から発症し、高齢になるにつれてものがかすんだり、二重に見えたり、まぶしく見えたりするなどの症状が現れ、進行すると視力が低下していきます。



©メディカルイラスト図鑑

フリーメディカルイラスト図鑑の画像を使用

白内障の治療について

白内障の治療には、薬物治療と手術があります。

薬は水晶体が濁っていくのを抑えるもので、予防と進行抑制には効果が期待できませんが、一度濁った水晶体を透明に戻すことはできません。白内障が進行し日常生活に支障をきたす場合には、手術を行う必要があります。

白内障は充血や痛みを伴う病気ではないため、日常生活に支障がなければ手術を行う必要はありませんが、車を運転する方や目をよく使う仕事をする方などは、医師と治療方針についてよく相談しましょう。

白内障の手術について

手術を行う前には、手術が問題なく行えるかを調べ、目にあう眼内レンズを選ぶ為に様々な検査を行います。

手術は点眼麻酔などを使用するので、手術中の痛みはほとんどありません。手術中には医師の話も聞こえますし、会話もできます。手術時間は白内障の程度によって様々ですが、通常片目で30分程度です。

白内障の予防について

白内障は加齢によるものですが、その原因としては、酸化ストレスや紫外線が考えられています。つまり、一般的に言われているアンチエイジングや抗酸化、紫外線対策などが白内障の予防にもつながります。

睡眠不足や喫煙、紫外線、脱水状態等は、すぐには大きな変化につながりませんが、酸化ストレスを蓄積する要因になります。睡眠を十分にとり、タバコを吸っている方は禁煙をしましょう。また、紫外線の強い場所へ出かけるときは、つばの広い帽子をかぶり、サングラスをするなど対策をお勧めします。

その他、糖尿病などの生活習慣病が白内障の進行に関係する場合があります。普段から食事や運動に気をつけたり、持病があればきちんと治療したりするなど、生活習慣病の予防と管理をしっかり行っていくことも大切です。



【参考文献】

- 1) 眼科先進医療研究会HP
- 2) 参天製薬HP
- 3) 日本眼科学会HP
- 4) 日本白内障学会HP